

情報共有による社会インフラの強靱化 —システム技術の新たな挑戦課題—

日 時 : 2011 年 12 月 9 日 (金) 13 時 30 分 - 16 時 40 分
会 場 : 文京シビックセンター (26 階) スカイホール (最寄駅 都営地下鉄 春日, 東京メトロ 後楽園)
主 催 : 横幹技術協議会、横幹連合
参 加 費 : 横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は参加無料。
当日資料代 : 1,000 円 (希望者のみ)

【上記以外】一般 5,000 円 (資料代込)

参加申込 : 【事前登録】オンライン申込 http://www.trasti.jp/forum/forum32_kyg.html

【企画趣旨】

世界中で都市の在り方に多くの関心が集まっている。安全快適な都市生活や活力あるビジネス活動のために、物流・移動、エネルギー、水、情報通信など社会インフラの強靱化は不可欠であり、同時に、優れた強靱化策を備えた社会インフラはグローバルなビジネス競争力を強固なものにする。横幹科学技術は、市民、企業、インフラサービス提供事業者、行政などの関与者や設備に対して、適切な情報連携の形を導くことによって、強靱なシステムづくりに貢献できる筈である。本技術フォーラムでは、3.11 での経験を踏まえ、社会インフラの強靱化をはかる上での基本的な考え方と具体的な取組み動向や課題、強靱化に係るシステムデザインの新たな方法論について学び、議論する。

【プログラム】

		(敬称略)
		総司会 : 船橋 誠壽 (横幹連合)
13:30-13:40	開会にあたって	桑原 洋 (横幹技術協議会 会長)
13:40-15:10	◆ 講演 1 強靱な社会インフラを実現するための 情報マネジメントの考え方	目黒 公郎 (東京大学 教授 生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター長)
15:10-16:00	◆ 講演 2 レジリアンス工学 : リスクマネジメントの システム論的展開	古田 一雄 (東京大学 教授 大学院工学研究科システム創成学専攻)
(16:00-16:10)	休憩	
16:10-16:30	◆ 総合討論	司会 : 船橋 誠壽 (横幹連合) 講師の皆様
16:30-16:40	閉会にあたって	出口 光一郎 (横幹連合 会長)

情報共有による社会インフラの強靱化 —システム技術の新たな挑戦課題—

2011 年 12 月 9 日（金）13 時 30 分—16 時 40 分

【 講 演 要 旨 】

講演 1

「強靱な社会インフラを実現するための情報マネジメントの考え方」

◆ 目黒 公郎 (東京大学 教授 生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター長)

防災対策は「被害抑止力」、「被害軽減・減災力」、「災害の予知・予見と早期警報」、「被害評価」、「(緊急)災害対応」、「復旧・復興」に分類されるが、総合的な防災力の向上には、事前から復旧・復興にいたる各タイミングで、これらの対策をバランスよく講じていく必要がある。この考え方を「災害対応の循環体系」と言うが、この実施には「情報とコミュニケーション」が欠かせない。講演では、この災害情報のマネジメント法について解説する。

講演 2

「レジリアンス工学:リスクマネジメントの システム論的展開」

◆ 古田 一雄 (東京大学 教授大学院工学研究科システム創成学専攻)

レジリアンス（回復能力）とは、環境から加えられる擾乱に対してシステムが適応し、平常状態をどれだけ継続できるかという能力を意味し、もともと環境変化に対する生態系の回復能力の意味で用いられてきた。しかし、近年では技術社会システムの安全性・信頼性を考えるより包括的な概念として、レジリアンス工学が提唱されている。そこで、レジリアンス工学が提唱されるに至った経緯と主要概念を紹介するとともに、今回の震災も踏まえた課題について論じてみたい。

<第 32 回横幹技術フォーラム 申込書>

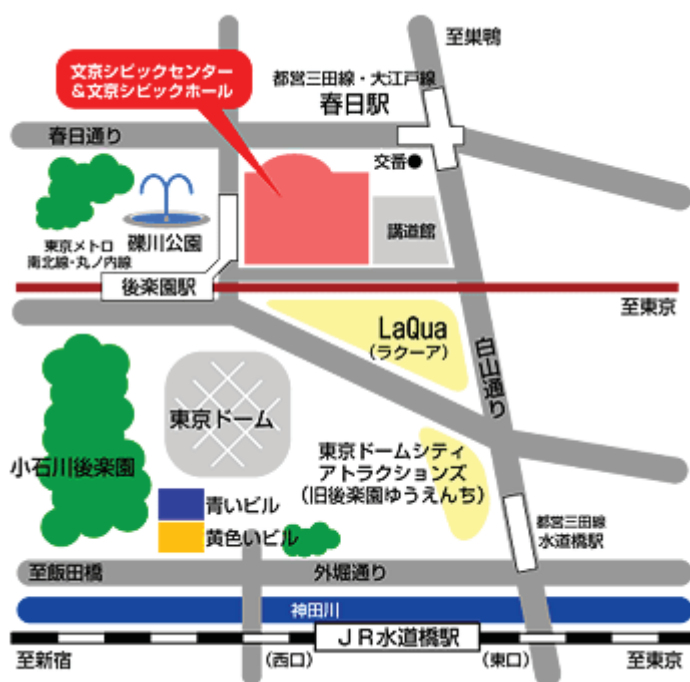
1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加費区分：※該当するものに○印をつけてください。

- (a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他

交通案内



文京シビックセンター所在地：〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-21

シビックホール26階 スカイホール

問い合わせ：03-5803-1100 (財)文京アカデミー施設管理係

